

# お客様・お取引先様とともに

～ ISO26000 7つの中核課題:消費者課題/公正な事業慣行 ～

8 数値が最も  
目立つ成果



## ▶ 基本的な考え方

公正な事業の遂行にあたり、すべてのステークホルダーの皆様に関する情報管理は必要不可欠なものと考えております。また、原材料および商品・委託製品のみならず、設備機器の購入にあたっては、すべてのお取引先様を保土谷化学グループの良きパートナーとして、社会的課題への対応とともに進めております。

## ▶ 情報セキュリティ

会社情報を機密として管理するとともに、情報セキュリティを確保する「情報セキュリティの方針」を策定しております。本方針に基づき、情報の適切な入手・利用・開示・管理・保護に取り組み、不正競争防止法、インサイダー取引規制など、関連法規を遵守しております。また、全役員・従業員の情報セキュリティ意識の向上とセキュリティ対策に努めております。

## ▶ 調達方針

保土谷化学グループは、「調達方針」および「調達ガイドライン」を制定しております。「調達ガイドライン」の遵守をお願いすることにより、お取引先様とともにESG(環境、社会、ガバナンス)に対応したCSR活動を推進しております。「調達方針」および「調達ガイドライン」の詳細は、ホームページに掲載しております。

### ■ 調達方針

1. 法令・社会規範の遵守
2. 環境に配慮した調達活動の実施
3. 公正な取引機会の提供
4. サプライチェーンとのコミュニケーションの深化



「調達方針」の詳細はこちらからご覧いただけます。

<https://www.hodogaya.co.jp/company/philosophy#a8>



「調達ガイドライン」はこちらからご覧いただけます。

[https://www.hodogaya.co.jp/wp/wp-content/uploads/2018/09/guideline\\_20180918.pdf](https://www.hodogaya.co.jp/wp/wp-content/uploads/2018/09/guideline_20180918.pdf)



## ▶ CSR調達の推進

購買部門では、CSR活動と一体になって、原材料の調達活動を推進しております。経営状態が健全であり、継続的取引が可能であるお取引先様をグローバルな視点で探索し、強固なサプライチェーンを構築するよう努めております。特に、原材料毎に複数の調達先の確保、調達国の多様化に取り組んでおります。保土谷化学グループ「調達方針」に基づき、原材料の化学物質管理や環境負荷の低減、ならびにサプライチェーンにおける人権の尊重など、環境・社会・ガバナンス等の社会的要請への適合をお取引先様にご理解いただき、お取引先様への訪問監査、アンケート調査などを実施し、お取引先様との相互理解の深化と信頼関係の構築に努めながら、改善活動を行っております。なお、保土谷化学グループでは、紛争鉱物(アフリカ諸国などの紛争地域で採掘され、武装勢力の資金源となっている鉱物)とされる、すず、タンタル、タングステン、金は取り扱っておりません。

## Voice



経営企画部  
高橋 雄作

### 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

IR活動の担当部門の役割は、株主や投資家の皆様に対し、適切な時期に適切な情報を提供することで、会社のことを正しく理解していただくことです。

株主総会は集中日を避けて開催し、インターネットによる議決権行使を導入する等、より多くの株主の皆様に参加いただけるような取り組みを行っております。

機関投資家やアナリストの皆様に対しては、個別ミーティングで対話を行っております。私は、決算後のIR取材の依頼に対して、ミーティング日程の調整、提供する資料の作成や情報の整理等の業務を担当しております。

これからも、株主や投資家の皆様を保土谷化学グループをより知っていただけるよう、貢献していきたいと思っております。